

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	有田市立 田鶴小学校	木村 正徳
学校所在地		
〒 649 - 0316 和歌山県有田市宮崎町2131 Tel 0737(82)3169 fax 0737(82)2180 e-mail tazu@lime.ocn.ne.jp		
担当者名	役職名・担当教科	
中岡 正年	教諭・6年担任	
〔学校の概要〕 本校は、有田川の河口に位置し、漁業を中心として発展してきた地域である。海あり山ありという豊かな自然環境の中で生きる当地域の人々は、地域のつながりを大切にし、人情深く、親切心にあふれている。そんな暖かい地域性に見守られた本校児童は、子どもらしい明朗さと快活さを兼ね備え、学校内は活気に満ちている。自分の思いを素直に言葉で伝えることは苦手であるが、行動的・協力的であり、地域や学校での奉仕的な作業には労を惜しまず活動する。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6 年生 23 名	職員 2 名	本校，世界遺産センター，熊野古道
実践研究テーマ		
世界文化遺産の見学や学習を通して、和歌山県の歴史や文化に対する興味関心を深めるとともに、郷土愛を育む。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産を知ろう	
〔キーワード〕 世界遺産学習 郷土愛		
〔単元目標〕 (1) 世界遺産について考える。 (2) 本県にも素晴らしい世界遺産があることを実感し、郷土を愛する心情を育てる。 (3) 調べたこと、体験して分かったことをまとめたり発表したりする。		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 11 時間 （「世界遺産について学ぼう」 11 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター……世界遺産入門 次世代育成事業 和歌山県世界遺産マスター		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	○世界遺産について知ろう。 ・「世界遺産」って何だろう ・どんな世界遺産があるのだろうか	・今まで学習したり，実際に訪れたりした場所から，世界遺産について想起させる。 ・図書の本やインターネットから世界遺産について調べさせる。	発言・観察 ワークシート
2	○世界遺産について調べよう ・日本にある世界遺産について調べよう ・和歌山県の世界遺産を調べよう	・世界遺産について図書の本やインターネットで調べさせ，お互いに伝え合わせる。	発言・観察
3	○世界遺産を感じよう ・熊野古道・本宮大社を訪れよう	・世界遺産について話を聞いたり，熊野古道を歩いたり，本宮大社を参拝したりして，世界遺産についての理解を深めるとともに，受け継がれてきた人々の心について考えさせる。	発言・態度
4	○学んできたことをまとめよう	・世界遺産について，またそれを受け継ぎ守ってきた人々の心について思ったこと，感じたこと，考えたことをまとめさせる。	ワークシート・態度
5	○感じたこと・考えたことを伝えよう	・自分の感じたことや考えたことが伝わるように発表させる。 ・学習を通して，感じたこと学んだことを話し合わせ文章でまとめる。	発表・態度
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>(成果) 熊野古道を歩いたり入門講座を受講したりすることによって，世界遺産について関心を深めることができた。特に，現地を実際に歩くことで王子跡や石碑を見ることができたことは大きい。この学習終了後，世界遺産について興味を持ち他の地域の世界遺産や外国の世界遺産についても関心を持ち，調べる児童がいた。</p> <p>(課題) 現地訪問前に，日本にある世界遺産について学習してきたが，「紀伊山地の霊場と参詣道」について学習を深めておくべきだった。当時の人たちの思いや，偉大さについて考えさせ，さらに，有田地域にもある熊野古道について事前に学習していれば，現地を訪れた際の驚きや感動がさらに大きかったのではないかと考えている。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛を育む目的において，和歌山県にある“世界遺産”を訪れる意義は大変大きいと感じる。世界遺産入門の講義を受け，熊野古道を歩くことによって，和歌山県に誇りと郷土愛を持つことができた。 ・本校は地域ボランティアに熱心に取り組んでいる。熊野古道保全に中高生のボランティアが活躍していることを知り，児童もさらに地域ボランティアに熱心に取り組むようになった。学習したことを日常生活上の行動に活かしている。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・現地を訪れて，そこで見聞きし感じたことは，教室での学びでは味わうことのない喜びや感動を児童に与えてくれる。先人たちの思いに触れ，現在も世界遺産のために努力を重ねている方たちの思いを知り，もっと世界遺産に関心を深めるとともに，世界遺産を守っていこうとする態度を育てていくことが大切である。それが故郷を誇らしく思う心情を育てることにつながっていくのではないかと考える。 			

様式 2



(学習を振り返って～児童の感想より～)

- 私たちが歩いたのは、熊野古道の一部なのにとてもしんどかったです。昔の人はこの道を歩いて、熊野本宮大社までたどり着いてすごいなと思いました。また昔の人が歩いた道を、私たちが歩けるのはありがたいし、文化遺産なので、これからも歩く際にはごみなどは絶対にすててはいけないなと思いました。
- 私が一番驚いたことは、世界遺産に登録されても、取り消されることがあるということです。だから、熊野古道にごみを捨てたり、自然を壊したりしては絶対にいけないことだと思いました。また今度、熊野古道を歩くことがあれば、たくさんの写真を撮って、知識を深めて皆さんに伝えられるようにしたいです。
- 熊野古道は、山の中を歩くのだと思っていましたが、住宅が建っているところも通って熊野大社へも行ったので「この道も、熊野古道に入るんだな。」と驚きました。
- 私は熊野古道のことも新聞にまとめましたが、他にも外国の世界遺産の種類や世界遺産から外されてしまったものもまとめました。学習を通して世界遺産は人から人へと受け継がれていくことがとても大切なのだと思いました。
- 私はなぜ伊勢路が石をしいた道が多いのか不思議に思いました。しかし、雨水で道が壊れるのを防ぐためだと知り、「なるほど」と思いました。私たちが通っていた小辺路は 1000m 以上の峠をいくつも超える参詣道の中で最も険しい道だと聞いて、とても驚きました。「紀伊山地の霊場と参詣道」は文化的景観が、日本で初めて高く評価された世界遺産だと聞いて少しうれしかったです。
- 新聞作りをして、反省点はパンフレットの書いていた文をそのまま写しているところもあったので、もっと自分の文に変えていけるようにしたいです。でも中辺路や大辺路の意味について書くことができたのでよかったです。世界遺産が三種類もあったので、驚きました。
- 現地の学習で感じたことは、とても歴史を感じられる場所だということです。なぜなら、私たちは普通に整備されている道を歩きましたが、昔の人たちは整備されていない道を歩いていたと思うと、本当に歴史のある道だと思ったからです。また、世界遺産の目的、種類、決め方等知らなかったことが多く、今回の学習で知ることができてよかったです。
- 熊野古道は最初、自然遺産だと思っていたけど、人工林や人の手を使っているの、文化遺産だと初めて知りました。
- 新聞作りをしているときに、いただいたパンフレットを何回も見ました。私は自分の生まれた県なのに知らないことがたくさんあるなと思いました。熊野古道は小辺路、中辺路、大辺路や伊勢路などがあり、それぞれ特徴をもっていることなど知らなかったです。知らないことがたくさんあって世界遺産のことをもっと知りたいと思いました。熊野古道を案内してくださった方に他にはどこの世界遺産に行ったのかを聞いてみたかったです。熊野古道に行けて良かったです。
- 世界遺産の葉を一枚でも採ってはいけなかったり、自然遺産、文化遺産、複合遺産の三つが世界遺産だったり、初めて知ることばかりでした
- 熊野古道を歩く前に世界遺産の説明があつてコアゾーンとバッファゾーンがあり、世界遺産から外れることがあることにすごく驚きました。熊野古道の中にも道がいくつかあつて、奈良県にまでつながっていること、昔の人が本宮大社を目指して歩いたことも初めて知りました。